



にき よしひと
仁木 義人 議員

タイムラグのない
情報を町民に発信
できたらいいな

問

ICTを利用した情報発信の考えは

町長

有用なツールを活用し努める

現状と課題

問 デジタルでの情報配信も当たり前の時代になり、配信方法が増え、複雑化しやすい情報配信を、どうやって分かりやすく伝えるかが、これからの行政広報の問題になると考えられるが、町民に対する広報の現状と課題は。
答 広報誌は、正しい情報を親しみやすい文章で町民に伝えることを目標に、内容の充実に努めているが、折り込みチラシが多すぎることや紙面が見にくい、読みにくいとの意見があり、当面の課題となっている。

情報弱者対策

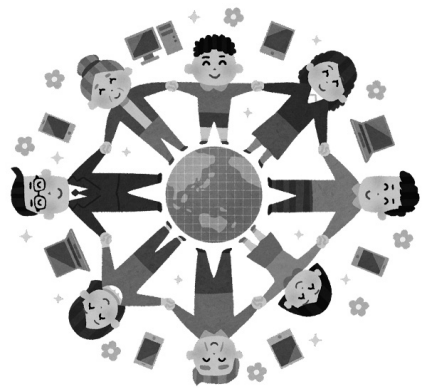
問 高齢者など、機器を使いこなすことが困難な方への対策は。
答 携帯会社が、地域に出向いて実施している講習会などを、ニーズに応じて開催を検討する。



問 光回線を引きたくても引けない家庭への補助の考えは。また、町営住宅への光回線の引き込みの考えは。
答 現状では難しい。これから他町村の対応などを含めて調査・研究が必要。

ホームページ・SNS

問 ホームページの現状と課題は。
答 ホームページは町民に正しい情報を伝えながら、町外には町の魅力を伝える役割があるので、バランスよく情報発信をしていく必要がある。
問 現在、町の魅力や情報を、町外に発信できているか。
答 町外への情報発信は不十分だと感じている。
問 SNS利用の現状をどう考えているか。



答 SNSは町外への情報発信が強いので、これから強化していきたいと考えている。

ICTでの情報発信

問 町民へICTを利用した情報配信の考えは。
答 今後も有用なツールを利用しながら情報発信に努める。
問 LINEを利用した情報発信の考えは。
答 LINEの即時性、手軽さなど有用だと考えているので、今後調査をして前向きに考えていきたい。

SNS

インターネット上で、利用者同士が情報を発信し交流するサービス。

ICT

デジタル情報通信技術のことで、インターネットを経由して人と人を繋ぐ技術。

LINE

メッセージを交換ができるサービス。文字だけでなく画像や動画なども相手に送ることができる。

LINE



仁木議員の一般質問を視聴できます